

○第1次-1の学習活動

【ねらい】

外国人に対する偏見や差別の事例動画を通して、外国人が抱える偏見や差別の現状について理解を深める。

【育てたい資質・能力】

◎知識的側面（外国人に対する偏見や差別の現状）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① ワークシート①の「国籍・地域別在留外国人の構成比」をみて、その現状についてペアで共有する。</p> <p>＜予想される意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1位は中国で4位までをアジア圏が独占している。 ・アジア圏以外で多いのは、ブラジルとアメリカ。 ・アジア圏の人が圧倒的に多い。など <p>② 外国人に対する偏見や差別の事例動画①【「家庭・地域で見られる偏見や差別」（8分 15 秒）】を見ながら、ワークシート①（1）の視聴メモに記入する。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=quDjCcdLqkw 【YouTube 法務省チャンネルより】</p> <p>③ 事例動画①で、発生している問題の原因は何かを個人で考え、ワークシート①（2）に記入し、グループで話し合う。</p> <p>問題 文化の違い →原因 多文化を学ぶ機会の少なさ 問題 先入観 →原因 外国人と触れ合う時間が少ない 問題 接し方 →原因 知識のなさ など</p> <p>④ 外国人に対する偏見や差別の事例動画②【「職場で見られる偏見や差別」（7分 40 秒）】を見ながら、ワークシート①（4）の視聴メモに記入する。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=GijRzOyh1U4 【YouTube 法務省チャンネルより】</p> <p>⑤ 事例動画②で、発生している問題の原因は何かを個人で考え、ワークシート①（5）に記入し、グループで話し合う。</p> <p>問題 疑いの目 →原因 思いやりのなさ 問題 接し方 →原因 先入観 問題 分かり合う姿勢 →原因 言語の違い など</p>	<p>●ワークシート①を配付し、構成比等について確認する。</p> <p>●主体的に考え、意見を出させる。</p> <p>●2つの事例動画を視聴する際、外国人に対する偏見や差別について、メモを取りながら視聴するように指示する。</p> <p>☆自分が外国に行った場合を想像させるなど、それぞれの登場人物の思いを考えながら視聴させる。</p> <p>☆グループの話し合いでは、互いの考えを尊重しながら、認識を深める。</p> <p>◎外国人に対する偏見や差別の現状を知る。【知識】</p>

○第1次-2の学習活動

【ねらい】

多文化共生社会の実現に向け、自分たちができることを考える。

【育てたい資質・能力】

◎技能的側面（外国人に対しての差別や偏見を見きわめる技能）

◎価値的・態度的側面（互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとする意欲や態度）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① 前時でグループ共有した内容について振り返る。</p> <p>② 前時の事例動画以外に、日本で生活する外国人がどのようなことに困っているかについてタブレット等を活用しながら調べ、ワークシート②（1）の個人メモに記入し、グループで共有する。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・風習や習慣といった文化の違いを受け入れられなくて困っている。 ・低賃金、長時間労働といった就職や職場での不利な扱いの労働環境で困っている。 など <p>③ ②を踏まえ、差別や偏見をなくすために、「私たちにできることや、すべきこと」について、ワークシート②（2）の個人メモに記入し、グループで話し合い、発表する。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を丁寧に伝える。 ・互いの文化を尊重する。 ・様々な言語に関心を持ち、学ぶ。 ・外国人への偏見（先入観）を持たない。 など <p>④ 「多文化共生社会」を実現していくために、どう考え、どう行動していくべきかをワークシート②（3）に記入する。</p>	<p>●ワークシート②を配付する。</p> <p>●グループでの話し合いにでてきた内容や気になったことをさらにタブレット等を活用して調べ、グループで共有させる。</p> <p>☆日本で生活する上で、外国人が困っていることについて気付かせる。</p> <p>◎外国人に対しての差別や偏見を見きわめている。 【技能】</p> <p>☆自分が外国で生活するとしたらどうするかを想起させ、自分ごととして考えさせる。</p> <p>●理想を話し合うのではなく、身近なところから具体的にできることを考えさせる。</p> <p>●より多くの意見を聞き、自分の考えをまとめさせる。</p> <p>●今後、在留外国人が増えることが想定されることからワークシート②にある「多文化共生社会」について説明し、その重要性について考えさせる。</p> <p>◎多文化共生社会に向けて、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとする。【価値態度】</p>

○第1次-3の学習活動

【ねらい】

ヘイトスピーチ解消法への理解を深め、差別や偏見をなくすために、市町村や国に対して提案する事項を考える。

【育てたい資質・能力】

◎知識的側面（ヘイトスピーチ解消法についての知識・理解）

◎価値的・態度的側面（互いの違いを認め合い、尊重しようとする意欲や態度）

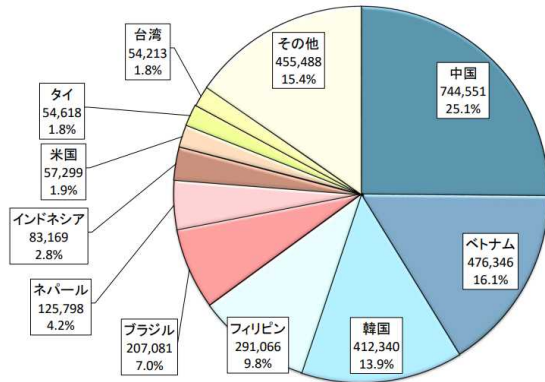
【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① 前時の「私たちにできることや、すべきこと」や「多文化共生社会」について、前時の感想を振り返る。</p> <p>② ヘイトスピーチについて、知っていることをとり同士で意見交流を行う。</p> <p>＜予想される意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシやパンフレットを見たことがある。 ・SNS上で知った。 ・街頭演説を見かけた。 など <p>③ ヘイトスピーチに関する事例動画【「解消法から5年・ヘイトスピーチは今」（21分45秒）】を見ながら、ワークシート③の視聴メモに記入する。</p> <p>【特集アーカイブ TBS テレビ：報道特集より】 https://www.tbs.co.jp/houtoku/archive/20210724_2_1.html</p> <p>④ ヘイトスピーチ解消法について知ったこと、考えたことについて、ワークシート③に記入する。</p> <p>⑤ ヘイトスピーチをなくすため、「私たちにできることやすべきこと」、「市町村や国に提案すること」をワークシート③の個人メモに記入し、グループで話し合い、発表する。</p> <p>＜私たちにできること＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無意識に発している言葉がヘイトスピーチになって 	<p>●ワークシート③を配付する。</p> <p>●ヘイトスピーチについて触れ、外国人の人権について、社会的な問題に目を向けさせる。</p> <p>●ヘイトスピーチ解消法を起点として、法律ができた背景、インターネット上の誹謗中傷やヘイトクライムにつながる差別言動などの問題にも触れる。</p> <p>☆無意識に使っている言葉の中にもヘイトスピーチにつながる可能性があることに気付かせる。</p> <p>◎ヘイトスピーチ解消法について知っている。【知識】</p> <p>☆学級や学年に外国にルーツのある生徒や家族等がいる場合は、事前にねらいや学習内容を丁寧に当該生徒や保護者に伝え、理解を得るようにする。</p> <p>●条例を作っている自治体の取組について紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例

<p>いないか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">• ネット上の誹謗中傷について真に受けない。• 自分たちがまず外国の文化・習慣について知る。 <p><提案事項></p> <ul style="list-style-type: none">• SNSパトロールの実施を提案する。• ヘイトスピーチに罰則等を設けてもらう。• プロバイダに削除申請する。	<ul style="list-style-type: none">• 川崎市ヘイトスピーチ禁止条例• 愛知県人権尊重の社会づくり条例 など <p>◎互いの違いを認め合い、尊重しようとしている。</p> <p>【価値態度】</p>
--	--

ワークシート①

令和4年6月末時点で在留外国人は約296万人います。これは日本の総人口の約2.3%です。



国籍・地域別 在留外国人の構成比（令和4年6月末）【出入国在留管理庁より】

上図の構成比を見ると、アジアの国々をはじめ多くの国から外国人が来ていることがわかります。様々な言語、宗教、習慣等をもった人々が日本人とともに生活しているのです。

しかし、それらの違いから人権問題が発生しているという場合もあります。

そこで、外国人に対する偏見や差別に関する2つの事例動画を見て、人権問題について考えましょう。

●事例動画①：「家庭・地域で見られる偏見や差別」

(1) 事例動画①ではどのような問題が発生していましたか。（視聴メモ）

- ・文化の違い
- ・先入観
- ・接し方 など

(2) (1)で書いた問題にはどのような原因が考えられますか。（個人）

- ・多文化を学ぶ機会の少なさ
- ・外国人と触れ合う時間が少ない
- ・知識のなさ など

(3) 事例動画①の問題点と原因をグループで共有しよう。

●事例動画②：「職場で見られる偏見や差別」

(4) 事例動画②ではどのような問題が発生していましたか。（視聴メモ）

- ・疑いの目
- ・接し方
- ・分かり合う姿勢 など

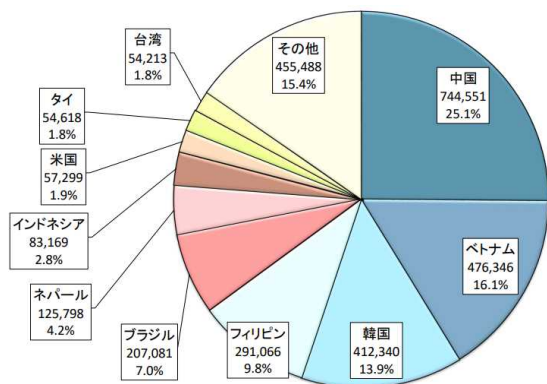
(5) (4)で書いた問題にはどのような原因が考えられますか。（個人）

- ・思いやりのなさ
- ・先入観
- ・言葉の違い など

(6) 事例動画②の問題点と原因をグループで共有しよう。

ワークシート①

令和4年6月末時点で在留外国人は約296万人います。これは日本の総人口の約2.3%です。



国籍・地域別 在留外国人の構成比（令和4年6月末）【出入国在留管理庁より】

上図の構成比を見ると、アジアの国々をはじめ多くの国から外国人が来ていることがわかります。様々な言語、宗教、習慣等をもった人々が日本人とともに生活しているのです。

しかし、それらの違いから人権問題が発生しているという場合もあります。

そこで、外国人に対する偏見や差別に関する2つの事例動画を見て、人権問題について考えましょう。

●事例動画①：「家庭・地域で見られる偏見や差別」

(1) 事例動画①ではどのような問題が発生していましたか。（視聴メモ）

Blank space for writing the answer to question (1).

(2) (1)で書いた問題にはどのような原因が考えられますか。（個人）

Blank space for writing the answer to question (2).

(3) 事例動画①の問題点と原因をグループで共有しよう。

●事例動画②：「職場で見られる偏見や差別」

(4) 事例動画②ではどのような問題が発生していましたか。（視聴メモ）

Blank space for writing the answer to question (4).

(5) (4)で書いた問題にはどのような原因が考えられますか。（個人）

Blank space for writing the answer to question (5).

(6) 事例動画②の問題点と原因をグループで共有しよう。

Blank space for writing the answer to question (6).

ワークシート②

○前時の2つの事例動画を視聴し、グループで共有したことについて、振り返ろう。

<前時で共有した意見例>

事例動画①		事例動画②	
問題	原因	問題	原因
• 文化の違い → 多文化を学ぶ機会の少なさ		• 疑いの目 → 思いやりのなさ	
• 先入観 → 外国人と触れ合う時間が少ない		• 接し方 → 先入観	
• 接し方 → 知識のなさ など		• 分かり合う姿勢 → 言語の違い など	

(1) 事例動画以外に外国人が日本で生活する上で困っていることはないか詳しく調べてみよう。

個人メモ	グループメモ
	<ul style="list-style-type: none">• 風習や習慣といった文化の違いを受け入れられない低賃金、• 長時間労働といった就職や職場での不利な扱いの労働環境 など

(2) 差別や偏見をなくすために、「私たちにできることや、すべきこと」について話し合おう。

個人メモ	グループメモ
	<ul style="list-style-type: none">• 外国人への偏見（先入観）を持たない• 様々な言語に関心を持ち、学ぶ• 日本文化を丁寧に伝える• 互いの文化を尊重する• 文化や習慣などへの理解 など

他のグループの発表メモ等

多文化共生とは

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」

【総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より】

外国人と日本人は文化、生活習慣、肌の色、言葉や宗教などの違いから職場や学校、地域社会などの日常生活の場において、様々な軋轢が生じ、外国人に対する偏見・差別が生まれ、人権侵害につながっている場合があることを学んできました。そこで、次のことを考えてみましょう。

(3) 「多文化共生社会」を実現していくために、どう考え、どう行動していくべきか考えよう。

- 初めから外国人だからといって、距離をとるのではなく、まずはコミュニケーションをとることが大切だと思う。
- 文化や考え、習慣が異なるからといって、避けるのではなく、互いに異なる部分を認め合い、歩み寄ろうとする姿勢が多文化共生社会を作っていくうえで最も重要だと思う。
- 相手を外国人としてではなく、一人の人間として接することが一番大切なことだと思う。
- 日本人でも私たち一人一人違う。だから、言語や宗教、習慣が違うのも、ただ目に見えやすくなっただけで、私たちの違いの延長線上だと考えれば、もう少し接しやすくなるはずだ。
- 相手のことを知ろうとする姿勢であることが「多文化共生」をつくる第一歩となる。自分にできることから行動していきたい。 など

ワークシート②

○前時の2つの事例動画を視聴し、グループで共有したことについて、振り返ろう。

<前時で共有した意見例>

事例動画①	事例動画②

(2) 事例動画以外に外国人が日本で生活する上で困っていることはないか詳しく調べてみよう。

個人メモ	グループメモ

(2) 差別や偏見をなくすために、「私たちにできることや、すべきこと」について話し合おう。

個人メモ	グループメモ

他のグループの発表メモ等

多文化共生とは

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」

【総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より】

外国人と日本人は文化、生活習慣、肌の色、言葉や宗教などの違いから職場や学校、地域社会などの日常生活の場において、様々な軋轢が生じ、外国人に対する偏見・差別が生まれ、人権侵害につながっている場合があることを学びました。そこで、次のことを考えてみましょう。

(3) 「多文化共生社会」を実現していくために、どう考え、どう行動していくべきか考えよう。

--

ワークシート③

○前時の「私たちにできることや、すべきこと」について

- ・偏見を持たず、相手の文化を理解し、「〇〇人だから」という理由で、人格を決めつけるのではなく、その人個人として接していく。
- ・言葉が通じにくくても、ジェスチャーや表情で、相手とコミュニケーションをとろうと努める。
- ・「外国人は怖い」という偏見を持たない。
- ・偏見や先入観で判断するのではなく、相手の文化を知り、それを認めていく。 など

○前時の「多文化共生社会」の感想について

- ・初めから外国人だからといって、距離をとるのではなく、まずはコミュニケーションをとることが大切だと思う。
- ・文化や考え、習慣が異なるからといって、避けるのではなく、互いに異なる部分を認め合い、歩み寄ろうとする姿勢が多文化共生社会を作っていくうえで最も重要だと思う。
- ・相手を外国人としてではなく、一人の人間として接することが一番大切なことだと思う。日本人でも私たち一人一人違う。だから、言語や宗教、習慣が違うのも、ただ目に見えやすくなっただけで、私たちの違いの延長線上だと考えれば、もう少し接しやすくなるはずだ。相手のことを知ろうとする姿勢であることが「多文化共生」をつくる第一歩となる。自分にできることから行動していきたい。 など

【ヘイトスピーチに関する動画視聴メモ】

- ・いまだにヘイトスピーチがなくなったといえる状況にない。
- ・2016年5月にヘイトスピーチ解消法が制定された。
- ・川崎市は、刑事罰付きのヘイトスピーチ禁止条例を定めた。条例は、排斥・侮辱・危害の発言などが3度認定されると、最高50万円の罰金を科す。
- ・ヘイトは、個人攻撃などに姿を変えて続いている。
- ・ヘイトスピーチへの対抗として、それが行われそうな場を何人かで陣取って、“読書の会”を行っている。
- ・標的にされた人は、数の暴力、匿名の暴力が怖いと感じている。
- ・現状のヘイトスピーチ解消法に加えて、snsなどにおける誹謗中傷や差別に強い罰則が必要。

○ヘイトスピーチ解消法について

- ・ヘイトスピーチとは、一般に特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動のこと。
- ・インターネット上に書き込まれた情報はすぐに拡散され、安全に削除できないので、将来においても被害を受け続けることになる。
- ・事実と異なる偽の情報を安易に信じて、SNS等で共有してはいけない。
- ・無意識に使っている言葉でもヘイトスピーチにつながる。

○ヘイトスピーチをなくすため、私たちができることやすべきこと、また、市町村や国に対して提案する事項を考え、発表しよう。

【グループ（ ）】 司会：_____ 記録：_____ 発表：_____

【私たちにできることやすべきこと】

個人メモ

- ・何がヘイトスピーチになるのかを知る。
- ・ネットで外国人に対する悪口を見ても無視する。
- ・自分たちがまず外国の文化・習慣について知る。
- ・ヘイトスピーチについて学習し、ヘイトスピーチの実態・影響を知る。
- ・共存社会に慣れる。

グループメモ

- ・偏見にとらわれない。
- ・友人がヘイトスピーチをしている場合、頼れる人（先生や大人）に共有する。
- ・自分も無意識にやっているかもしれないと思って気を付けながら行動する。
- ・〇〇人という固定観念をなくす。
- ・日本に住んでいたなら、日本人と思って接する。
- ・相談にのる。

【市町村や国に求めること（提案）】

個人メモ

- ・SNSパトロールの実施。
- ・ヘイトスピーチに罰則等を設ける。
- ・条例や禁止する法律をつくる。
- ・プロバイダに削除申請する。
- ・TVなどのメディアでヘイトスピーチを取り上げる機会を増やす。
- ・ヘイトスピーチのサイトの強制削除。

グループメモ

- ・外国人居住地域の区別をなくす。
- ・正しい知識が得られる教育。
- ・ヘイトスピーチについて知らない人に向けて、知れる機会を与える。
- ・ヘイトスピーチをする人と、在日外国人との話し合いの場を設けて、互いを理解してもらおうとする。
- ・基準を本人とした罰を下せる法律。

【他のグループの発表メモ】

※差別や偏見をなくすために、色々な意見を出し合い、グループとして発表できるようにしよう！

ワークシート③

○前時の「私たちにできることや、すべきこと」について

○前時の「多文化共生社会」の感想について

【ヘイトスピーチに関する動画視聴メモ】

○ヘイトスピーチ解消法について

○ヘイトスピーチをなくすため、私たちができることやすべきこと、また、市町村や国に対して提案する事項を考え、発表しよう。

【グループ（ ）】 司会：_____ 記録：_____ 発表：_____

【私たちにできることやすべきこと】

個人メモ	グループメモ

【市町村や国に求めること（提案）】

個人メモ	グループメモ

【他のグループの発表メモ】

※差別や偏見をなくすために、色々な意見を出し合い、グループとして発表できるようにしよう！